

飯島宗享 いひじま むねたけ 哲學者。大正九年十月(二十一日)長崎縣生れ(一九二〇)。
昭和十七年東京帝國大學文學部哲學科卒。實存哲學專攻。東洋大學教
授。

譯著書に、キェルケゴール著『ドン・ジュアン論—直接的エロスの階
段階・音楽的エロス』(譯、昭和二十二年五月十日塙書房)、『哲学
者のことば—西洋哲学史思想史』(出陣兵編、昭和二十四年四月十五日
理想社)、『近代日本思想論争』(民選議院論争から大衆社会論争ま
たに) (合著・宮川透他) 二名編、昭和二十八年六月(二十日青木書店)、
『混沌—この讀れないもの』(昭和四十一年八月(二十五日)日本YMCA
A同盟出版部)、『気分の哲学—失なわれた想像力を求めて』(昭和
四十五年三月(二十日)毎日新聞社「コア・バックス」) 等。

